

障がいのある人への自立支援

この研修では、市町村の障がい者福祉施策にかかる現状と課題を確認し、障がいのある人が個人としての尊厳を持ち、その人にふさわしい日常生活や社会生活を送ることができるよう支援するための施策を立案・実施する力を養成します。そして、障がいの有無に関わらず、誰もが共に安心して暮らすことができる社会について考えていきます。

研修の ポイント

- ◆国の障がい者福祉政策の最新動向について学びます。
- ◆机上ではなく、現場を意識した障がい者福祉施策を考える力を養います。
- ◆自らの地域に合った施策展開を行うための柔軟な思考力を養います。
- ◆演習等により、障がい者が個人として尊重される地域の未来像に向けた施策の改善案を検討します。

開催要領

日 程 平成29年1月16日(月)～1月20日(金) (5日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市町村等の障がい者福祉担当の職員
5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。
また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

募集人数

50人
募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

16,250円
上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食4回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成28年12月5日(月)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。
詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

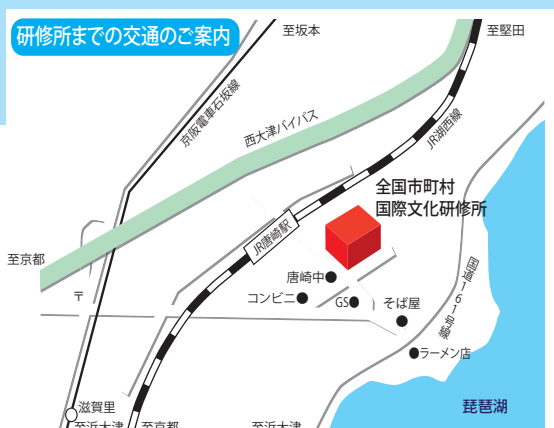
TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] http://www.jiam.jp

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



【研修の内容及び日程】

1/16
(月曜日)

14:00～15:30 **入寮受付**
16:00～ **開講・オリエンテーション**
17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

1/17
(火曜日)

9:25～12:00 **【導入講義】市町村の障がい者福祉** 関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 谷口 泰司 氏
障がい者福祉の最新動向をふまえ、市町村職員として、地域の障がい者施策に今後どのような視点で取り組むべきかについてお話し
いただきます。

13:00～15:35 **【講義】障害者差別解消法がめざすもの** 特定非営利活動法人DPI(障害者インターナショナル)日本会議 議長補佐 崔 栄繁 氏
障害者差別解消法が、平成28年4月に施行されました。この法律について、制定の背景や目ざすところ、そして市町村としてどう対応
していけばよいのかについて、お話しいただきます。

15:50～17:00 **【課題演習】グループ討議**
17:00～ **【課外学習】グループ討議(1～2時間程度)**

1/18
(水曜日)

9:25～12:00 **【講義】発達障がい者支援とその取組** 日本発達障害ネットワーク(JDDnet)専門委員 山岡 修 氏
発達障がい者に対しては、ライフステージを通じた連続性のある支援が必要です。発達障がい者が置かれている状況や支援
の在り方についてお話しいただきます。

13:00～15:35 **【講義】地域(自立支援)協議会の活用 ～障がいのある人が暮らしやすい地域社会を目指した関係機関との連携～**
滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 中島 秀夫 氏
障がいのある人への支援や地域移行を進めるためには、「地域(自立支援)協議会」を核に、医療、福祉、教育、就労等に関する地域資
源が連携し、ライフステージを通じて一貫した支援体制を構築することが不可欠です。
この時間は、「地域(自立支援)協議会」の役割やネットワーク構築について、また、都道府県・市町村(自立支援)協議会間の連携につ
いてお話しいただきます。

15:50～17:00 **【事例紹介】市町村の相談支援体制** 愛知県半田市福祉部地域福祉課 主査 渡辺 富之 氏
愛知県半田市障がい者相談支援センター 副センター長 徳山 勝 氏
半田市は、障がいのある方も住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていくことができるように、障がい者相談支援センターの設
置による支援体制を構築されています。また、地域福祉課と連携しながら、障がい者相談支援センターが中心になって(自立支援)協議
会を運営し、就労・住まい・社会参加などの部会を設置して個別課題に対応しておられます。これらの取組についてお話しいただきます。

17:00～ **【課外学習】グループ討議(1～2時間程度)**

1/19
(木曜日)

9:25～12:00 **【講義】障がいのある人の自立を支援する ～いま、市町村に求められていること～** 日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿 氏
障がい者施策の見直しが行われ、今一度「障がいのある人の自立を支援する」とはどういうことを考えていきます。また、自立を支
援するにあたって、市町村に求められている役割や関係機関、地域との関わり等についてもお話しいただきます。

13:00～14:10 **【事例紹介】就労支援 ～「障がい者千人雇用」岡山県総社市の挑戦～** 岡山県総社市保健福祉部福祉課 主事 吉田 裕司 氏
岡山県総社市社会福祉協議会 障がい者千人雇用センター 千人雇用ワーカー 前田 光彦 氏
総社市では、平成23年から27年までの5年間で障がいのある人の就労1,000人を目標に掲げ、官民協働で就労支援を進めてこ
られました。「障がい者千人雇用推進条例」の施行、ハローワークとの連携、障がい者千人雇用センターの設置などの取組事例をご紹介い
ただきます。

14:25～17:00 **【演習・グループ討議】** 社会福祉法人ロザリオの聖母会 ナザレの家あさひ 所長
障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 副代表 荒井 隆一 氏
小グループに分かれ、各市町村等の現状をもとに情報交換・意見交換をしていただき、講師指導のもと「障がいのある人への自立支
援」施策について提案をまとめていただきます。

17:00～ **【課外学習】グループ討議(1～2時間程度)**

1/20
(金曜日)

9:25～14:10 **【演習】発表・質疑応答・講評** 社会福祉法人ロザリオの聖母会 ナザレの家あさひ 所長
障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 副代表 荒井 隆一 氏
グループでまとめていただいた提案について、プレゼンテーションしていただき、講師から講評をいただきます。最後に、研修全体の
総まとめを行います。

14:10～14:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

平成27年度研修受講者の声 ～研修アンケートから～

- なぜ法がつけられたかだけでなく、どういった経緯や意図があってつけられたか理解できたのでよかったです。
- 相談支援体制について見つめ直すいい機会になりました。
- 1年目の受講でしたが、とても勉強になり、多方面の課題をとらえることができ、視野が広がりました。

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。
◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM
メールマガジンの
お知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関
する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録くだ
さい。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。